

労基法解体

を許さない緊急集会

～「労働基準関係法制研究会」議論の危険性を暴く～

6月26日(水) 19:00～20:30

主催：労働法制中央連絡会、国民春闘共闘、
全国労働組合総連合

会場：全労連会館2階ホール(東京都文京区湯島2-4-4)
Zoomミーティング(登録制)

Zoomミーティングで参加される方は、
左記QRコード、または下記URLから参加登録
をお願いいたします。



▶Zoom参加登録 <https://x.gd/f5jzX>

厚生労働省は、現在、労働基準法と労働基準行政の「40年ぶり」となる抜本的な見直しを進めています。

「新しい時代の働き方研究会報告」(2023年10月)でとりまとめた課題を「労働基準関係法制研究会」に委嘱し、議論がされています。しかし研究会の議論は、労働基準法が使用者に課している規制を有名無実化し、労働基準行政による監督指導を弱体化させる方向です。経団連をはじめとする財界の意向が強く反映されていることは明らかです。

世界と日本の労働者がたたかひのうえに確立してきた労働基準の規制を骨抜きにし、時計の針を100年も前に戻しかねない「労働基準関係法制研究会」議論の危険性を広く共有するため、緊急集会を開催します。

お問い合わせ先 全労連政策グループ

TEL 03-5842-5611 MAIL wage@zenroren.gr.jp